

AWS 上で利用可能な高速・高画質 H.264 映像エンコーダーの提供を開始

[横浜発、2020年9月8日] 株式会社ソシオネクスト (Socionext Inc.) は、Amazon Web Services, Inc. のクラウドサービス アマゾン ウェブ サービス (以下、AWS) 上で利用可能な高速・高画質の映像エンコーダー「H.264 Encoder on AWS」を開発し、AWS のユーザーに向けて提供を開始しました。映像配信サービス事業者は「H.264 Encoder on AWS」を利用することで、配信する映像の品質を保ちつつ、映像コンテンツの制作から配信までの処理時間を従来の 30% へと飛躍的に短縮することができ、コストを抑えながらサービス品質の向上やコンテンツ本数の充実が可能になります。

「H.264 Encoder on AWS」は、AWS の Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) サービスの F1 インスタンス上で動作する映像エンコーダーで、インターネットでの映像配信で最も一般的に利用されている H.264 エンコード規格に準拠し、映像配信サービスに求められる高画質での圧縮と、高速処理を同時に実現します。

AWS の F1 インスタンスには、ハードウェア回路を書き込んで利用することのできる FPGA デバイスが用意されています。「H.264 Encoder on AWS」はソシオネクストのハードウェア回路技術を活かした独自のアクセラレーター回路を F1 インスタンスの FPGA デバイスに書き込んで利用するもので、高画質での映像圧縮をソフトウェアエンコーダーでは実現不可能な速度で処理することができます。また「H.264 Encoder on AWS」は、アプリケーションインタフェースとして映像配信サービスのシステムに多く利用されている FFmpeg を採用しているため、映像配信サービス事業者は容易に自社のシステムに組み込んで利用することができます。

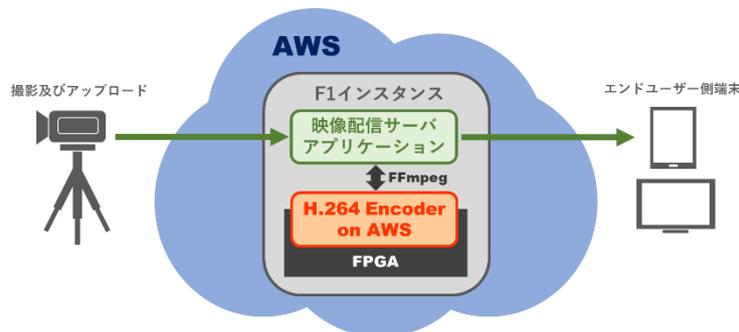


図: H.264 Encoder on AWS 利用例 ([クリックで拡大](#))

ソシオネクストは、今回提供を開始した「H.264 Encoder on AWS」や、同社の映像処理技術を活かした SoC (System-on-Chip) 製品により、需要が拡大しているクラウド経由の映像配信に向けたソリューションを順次提供していきます。

H.264 Encoder on AWS 主な仕様

項目	仕様
プラットフォーム	AWS / Amazon EC2 サービス / F1 インスタンス
解像度	最大 1920 x 1080 ピクセル
画素フォーマット	4:2:0 / 8 ビット
フレームレート	解像度 1920 x 1080 時 最大 120fps
複数チャンネル動作	可 (例 : 1920 x 1080 @ 30fps x 4ch)
エンコード遅延時間	高画質設定時 : 約 1 秒 低遅延設定時 : 約 100 ミリ秒
エンコード画質	・ x264 veryslow プリセットレベル ・ 2 パスエンコード可

ソシオネクストについて

株式会社ソシオネクスト(Socionext Inc.)は、SoC(System-on-Chip)の設計・開発および販売を事業とするグローバル企業です。コンシューマ、オートモーティブおよびインダストリアル分野における世界トップレベルの技術を核に、今日のさまざまなアプリケーションの進化を支えます。長年培った技術力と経験、さらに豊富な IP ラインナップをベースに卓越したソリューションを提供し、人々の豊かな体験 = “better quality of experience”の実現に貢献します。2015年に設立された株式会社ソシオネクストは横浜市に本社を置き、日本国内、アジア、米国およびヨーロッパの各拠点において製品開発および販売活動をグローバルに展開しています。

詳しくは <https://www.socionext.com/jp/> をご覧ください。

Amazon Web Services、アマゾン ウェブ サービス、AWS、Amazon Elastic Compute Cloud、Amazon EC2 は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

そのほか、記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。プレスリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。